

令和 8 年 4 月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
1	九鬼	65歳以上の尾鷲市民を対象とした「ふれあいバス無料化」について、10月から無料になるのか。検討状況および現時点での進捗・方針を確認したい。	65歳以上の市民を対象としたふれあいバスの無料化につきましては、6月議会において条例改正案及び補正予算案を議決いただきました。 今後は、10月1日からの開始に向け、市広報などで制度や申請方法等を市民の皆さまに周知させていただきます。また、申請をいただいた方には、順次無料バスを郵送にて交付させていただく予定です。	市長公室
2	九鬼	避難所運営における避難者への対応について、「心のケア」の問題をもっと掘り下げていただきたい。これからはそういった点にも力を入れる必要があると思う。防災担当職員の方がそういった講習を受けられたら、ぜひ、各地域で伝達講習を行ってほしい。	三重県による「こころの健康危機管理研修会」が定期的に開催されていることから、今後は防災職員が当該研修を受講し、防災講話等の機会を通じて住民に周知・啓発することを検討してまいります。	防災危機管理課
3	九鬼	イタダキ市について、出店数や来場者数の減少、魚の町でありながら魚介類の出店が少ないなど、活気の低下が見受けられるため、魅力向上に向けた企画や運営の見直しをお願いしたい。「新鮮な魚が購入できる場」としてのイメージを持てるようなイタダキ市となるよう、魚介類出店の充実に向けた取り組みを検討してください。	イタダキ市は25年の歴史を持つ一方、近年では出店者・来場者の減少傾向が続いており、事務局である商工会議所とともに、改善が必要であると痛感しております。 そのような中、JRイベントとの連携は好評で、問い合わせや来場者数が増加し、外部連携による新規需要の創出に大きな可能性があることが確認できました。 また、出店者やイタダキ市の魅力を紹介する動画による情報発信を行うとともに、来場者や出店者の増加に向けた新たな企画を検討しているところです。 短期的な活気の回復は難しいと思われませんが、商工会議所と連携し、現在、企画・運営の改善や出店者の充実に向け、少しずつ取り組みを進めておりますので、今後ともイタダキ市への応援をいただければ幸いです。	商工観光事業推進課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
4	九鬼	輪内地区では、地域内の商店の減少や移動販売の廃止に加え、高齢化や免許返納などにより、市街地まで買い物に行くことが難しい住民が増えている。市が率先して移動販売事業を展開することを含め、地域の実情に応じた買い物支援策を検討してほしい。	高齢化の進行や免許返納の増加、身近な商店や移動販売の減少などにより、特に輪内地区をはじめとするセンター管内の地域において、日常生活における買い物や移動手段の確保が重要な課題であると認識しております。 こうした課題に対し、本市では、高齢者の外出や移動を支援するため、本年10月1日からふれあいバスの運賃を65歳以上の高齢者等について無料化することとしております。 また、要介護の認定を受けている方につきましては、その方の状況に応じて、福祉有償運送や介護サービスによる買い物・移動支援をご利用いただけます。加えて、輪内地区では、尾鷲市社会福祉協議会により、住民ボランティアが添乗したバスで市街地まで送迎する買い物支援「いこらい」が運行されており、高齢者の買物をサポートする取り組みを実施しております。 今後も地域の実情やニーズを把握しながら、民間事業者による移動販売や宅配サービスの活用などとあわせ、生活支援体制整備事業のなかで地域の皆さまとともに検討してまいりたいと考えております。	福祉保健課
5	九鬼	総合病院（イシブチ薬局付近）の前の壁面の汚れが目立つため、来院者の印象向上の観点からも清掃をしてほしい。	以前にも同様のご指摘を受け、清掃を行いましたが、汚れを十分に落とすことができませんでした。改めて清掃方法を検討したうえで、清掃を実施いたします。	総合病院

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
6	九鬼	市ホームページを見ると最初に出てくるのは2024年のクマ情報であった。掲載情報が古く更新が不十分なのではないか。最新情報が適切に反映されるよう更新体制の見直しと、情報発信手段の在り方について検討を求める。	本市HPのトップページは、一番上に緊急情報や重要なお知らせを掲載し、その下に利用メニュー、シーン別メニュー、さらにその下に新着情報や注目情報を掲載する構成となっております。 重要なお知らせについては、掲載内容が現在も有効である場合、掲載日が古い情報が表示されることがあります。今後も、掲載内容や表示方法を定期的に確認し、必要に応じて見直してまいります。	市長公室
7	早田	早田地区において、宝くじコミュニティ助成で公園にブランコやすべり台の整備を予定しているが、設置工事費が地元負担となっている。遊具設置に伴う工事費や安全対策（看板等含む）について、市の支援はいただけないのか。	コミュニティ助成事業については、各地区からの申請に基づき助成されるものですが、備品等の設置に係る工事費用は助成対象外となりますので、設置工事費については実施主体である区の負担となり、市としての支援も難しいことをご理解ください。	市長公室 (建設課) (市民サービス課)
8	早田	3月に三重県で三重県南海トラフ地震被害想定について誤りがあったというニュースがあったが、市には報告はあったのか。市民には見直された内容をどのように周知してもらえるのか。	被害想定の誤りについては、三重県から各市町に報告をいただいております。その後も修正や検討事項については逐次情報共有をいただいております。 新たな被害想定については、現時点ですべての内容が公表されているわけではなく、現在検討中の事項については、令和8年秋頃に公表される予定です。すべての内容が公表された後に、広報等で周知するとともに、防災講話等の機会を通じて説明することも検討してまいります。	防災危機管理課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
9	早田	斎場の建替えや設備更新についてはどのような検討がされているのか。順番待ちで込み合っていた、というような話も聞いたが、大丈夫か。	令和3年度から計画的に施設の改修工事を進めてまいりました。今年度中には、緊急時に使用する「2号炉」の全面的な点検・整備を行う予定で、これにより、今後は3つの炉を安定して稼働できる体制が整います。 炉の稼働体制が充実することで、これまで生じていた順番待ちは解消されるものと考えております。	環境課
10	賀田	熊野古道来訪者の増加は歓迎する一方、賀田地区には利用可能なトイレがなく、受入環境に課題がある。観光公衆トイレは県の管轄であることは認識しているが、賀田駅のトイレも使用できない状況であるため、早急な対応をお願いしたい。	賀田駅前の公衆トイレは、施設の老朽化により、現在使用を禁止しております。復旧については、施設の管理者である三重県に対し、要望を行っております。	建設課 商工観光事業推進課
11	賀田	紀宝町では、職員がくくり罠の免許をとって地区に出向いているという。獣害対策の一環として、尾鷲市もくくり罠の免許取得のための補助金を出すなどして獣害対策にたずさわる人を増やすなどの仕組みを検討できないか。	本市では、鳥獣による農業や林業への被害を防止するため、網猟・わな猟または第一種銃猟免許・第二種銃猟免許を取得しようとする方に対して、初任者狩猟免許取得講習会の受講料を助成しており、新規狩猟免許取得者の増員を図っております。 また、獣害パトロール員2名を配置し、毎日巡回パトロールなどを行っているほか、獣害担当の地域おこし協力隊1名も登用し、狩猟見学ツアーを開催するなど、狩猟に関心を持つ方を増やす取り組みも行っています。	水産農林事業推進課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
12	曾根	子どもや子育て世帯への支援施策はよく聞くと、高齢者にも恩恵があるような施策はないのか。高齢者への支援施策が十分に考えられていないように感じる。	本市では、高齢者の皆さまが住み慣れた地域でずっと安心して暮らせるよう、「尾鷲市高齢者保健福祉計画」に基づき、さまざまな支援施策に取り組んでおります。まず、外出や移動を支援する取り組みとして、令和8年10月1日からふれあいバスの運賃を65歳以上の高齢者等について無料化することとしており、これにより高齢者の外出や移動を支援してまいります。また、買い物やごみ出しなどの生活支援、見守りや声かけなどについて、生活支援コーディネーターを中心に、地域の皆さまとともに支え合いの仕組みづくりを進めております。健康づくりや介護予防の面では、地区コミュニティセンターを中心として身近な地域で気軽に参加できる「通いの場」の拡充を図り、健康教室・各種検診などに取り組み、高齢者がいつまでも元気に過ごせるよう支援しています。あわせて、栄養バランスのとれた食事の配達を通じて安否確認も行う食の自立支援事業や、ひとり暮らし高齢者などの急な体調不良に対応する緊急通報装置貸与事業などを実施しております。このように、高齢者の皆さまの生活を多面的に支える施策を進めておりますが、こうした取り組みについて、周知が行き届いていない面もあったものと受け止めております。今後は、施策の一層の充実とともに、高齢者の皆さまに支援内容がしっかりと届くよう、周知にも努めてまいります。	福祉保健課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
13	中央公民館 早田	野球場について、今後どのように活用していくのか知りたい。多くの市民が利用できる施設となるよう、有効活用の方向性や具体的な計画を示してほしい。また、施設が現在の利用ニーズに十分対応できていないように感じる。スポーツ少年団などを誘致する場合、大会や合宿が重なれば宿泊施設の不足も懸念される。女性用シャワールームやミーティングルームなど利用しやすい環境整備を進めてほしい。	尾鷲ヤーヤスタジアムの活用につきましては、競技利用のほかにも施設管理上、支障のない範囲でイベントを実施するなど、多目的な活用を図ってまいります。 （直近では8月29日（土）に子育て支援イベントを実施する予定です。） 当該野球場は、旧市営野球場の代替施設として整備されたもので、旧市営野球場よりもフィールドが広く、全面人工芝やナイター照明を備えるなど、競技環境が充実しています。また、県内でも有数の規模を誇る球場となったことから、既に大会や合宿の予約をいただいております。 しかしながら、ご要望の設備につきましては現在整備されていないことから、今後、利用者のニーズも踏まえながら、施設運営の中で検討してまいりたいと考えております。今後の活用につきましては、引き続き進められる球場周辺の公園整備に合わせ、整備された公園も活用しながら、球場の活用の幅を広げていき、より多くの市民の皆さまに利用される施設を目指すとともに、市外からの集客交流人口の増加に繋げたいと考えております。	文化・スポーツ振興課
14	中央公民館	市営住宅の老朽化が進んでおり、施設の状況が気になる。今後、安心して暮らせる住環境を維持していくために、市営住宅をどのように維持・整備していくのか。	本市では、施設の効率的な維持管理を図るため、「尾鷲市営住宅長寿命化計画」を策定しており、この計画に基づき、団地の集約化や跡地の売却・利活用について検討を進めています。また、住宅の修繕等も行っており適切な維持管理に努めています。	建設課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
15	中央公民館	がん患者医療用ウィッグ等購入費補助について、実際に一人当たりどのくらいの補助が受けられるのか。また、現在がん治療中の人が対象になるという理解でよいのか。購入に関するPRは、特に申請しにくいと思われる女性の患者さんを優先的に、気持ちに配慮した丁寧な周知をお願いしたい。	補助額は、購入費の3分の2（千円未満切捨て）で、上限額は2万円となります。例えば、3万円の医療用ウィッグ等を購入された場合は2万円、1万5千円の場合は1万円の補助となります。ただし、三重県の補助を受けたことがある方につきましては、購入費の3分の1（千円未満切捨て）で、上限額は1万円となります。対象となる方は、がんの治療を受けた方又は現に治療を受けておられる方で、令和8年4月1日以降に医療用ウィッグ等を購入された方です。なお、本補助金の申請は1人1回限りとなりますので、まとめてご申請いただくようご案内しております。また、制度の周知については、チラシを作成するとともに、尾鷲総合病院とも連携し、治療中の方のお気持ちに配慮した丁寧な周知に努めてまいります。	福祉保健課
16	中央公民館	尾鷲の地場産業は山と海に支えられていると考えているが、現状はどうなっているのか。特に山の仕事については担い手不足が深刻で、今後どのように維持していくのかが大きな課題だと思う。地場産業を守るため、具体的にどのような対策を考えているのか。	現在、本市におきましては、市有林の一部を「みんなの森」と称して、企業の寄附などにより、生物多様性と林業を両立する新しい取り組みを行っています。また、二酸化炭素の吸収量について、カーボンクレジットとして国の認証を受け、企業等に販売する「J-クレジット制度」を活用して、新しい収益の確保も行っており、こうした取り組みを、民間所有林にも広げていくことで、新しい林業としての仕事量を確保し、林業事業体に対して安定的に事業量を供給していくことに取り組んでいます。また、国からの森林環境譲与税を活用して、民有林に対して測量や間伐など、毎年一定の業務を発注しており、担い手対策を行っております。	水産農林事業推進課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
17	中央公民館	八幡橋付近の津波避難路について、避難方向を示す看板が橋を渡らず川沿いを進むルート案内しているが、橋を渡った方が安全ではないか。 また、市内の橋について落橋を心配する声もあるが、橋の構造や耐震性について、近くに住む人が安心して避難できるよう、安全性の根拠を明確に示すなど、市民に情報提供してほしい。	津波避難路は、大地震発生時に起こりうるさまざまな要素を考慮し、総合的に安全性が高いと考えられる経路を設定しており、当該看板では八幡大橋を渡らず避難するルートをご案内しています。 なお、災害時には周囲の状況に応じて、最も早く安全な場所へ避難することが重要であり、状況によっては柔軟な判断が必要となる場合もありますので、住民の皆様には、平時から複数の避難ルートをご検討いただきますようお願いいたします。 尾鷲市が管理する170橋の橋梁については尾鷲市橋梁長寿化修繕計画（令和6年3月策定）を市HPに掲載しておりますのでご確認をお願いいたします。	防災危機管理課 建設課
18	中央公民館	今回、初めて報告会へ参加したが、参加者が少なく、周知方法に課題があるのではないかと感じた。 より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、議会から積極的に情報発信を行うなど、参加を促す工夫が必要ではないか。市民が議会を身近に感じられるような取り組みや改善策を検討してほしい。	現在、議会報告会については、ワンセグ放送やホームページ、チラシの掲示などを通じて周知を行っています。一方で、より多くの市民の皆さまに情報を届けるため、周知方法の見直しも進めています。議員からの提案を受け、SNS（X・LINE）を活用した情報発信を開始することとしました。第2回定例会に関連する会議から運用を開始し、より多くの方に議会への関心を持っていただけるよう取り組むとともに、今後も市民の皆さまに分かりやすく情報をお届けできるよう努めてまいります。	議会事務局

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
19	中央公民館 老人クラブ 連合会	三木里海水浴場について、なぜ現在のような利用の少ない状況になったのか。貴重な景観資源を生かしながら有効活用を進め地域のにぎわいを取り戻せるようにどのような活性化策を考えているのか。	利用者が減少している背景には、全国的な海水浴客の減少に加え、地域の人口減少により、海水浴場の運営を担う人材の確保や、イベントの企画・実施体制の維持が難しくなっていることがあります。このため、現在は市が主体となって海水浴場を開設しております。今後も、貴重な景観資源を生かしながら効率的な運営に取り組み、観光地としての環境整備と地域との共生を図ってまいります。	商工観光事業推進課
20	中央公民館 曾根	尾鷲総合病院は今年度も大幅な赤字が見込まれており、今後も病院運営を継続していけるのか不安を感じている。不採算部門の見直しに関する発言もある中で、病院の現状や課題、今後の方向性について市民にも分かりやすく説明してほしい。また、病院の役割や経営状況について市民が理解を深められるように丁寧な情報提供や説明の機会を設けてほしい。	尾鷲総合病院の経営状況のみならず運営全般に対しまして、大きな施策を実施する場合には、市議会に報告することにより、市民の皆さまへの周知にもつながるものと考えております。今回いただいたご意見を踏まえ、今後は、市民の皆さまに病院の経営状況や課題、今後の方向性を分かりやすくお伝えできるよう、情報発信の充実に努めてまいります。また、出前講座などをご利用いただければ、職員が地域に伺い、ご説明いたします。	総合病院
21	老人クラブ 連合会	地域活性化のためにも、尾鷲南インター周辺に始神テラスのような、尾鷲市を盛り上げる施設はできないのか。始神テラスは実際に利益を上げ、地域の活性化につながっているように見えるため、尾鷲でも同様の取り組みを期待したい。	尾鷲南インター周辺への集客については、本市としてもその重要性は認識しておりますが、以前、検討を進めていたものの、財政面や立地状況等から、整備方針の決定には至らなかった経緯もあります。現在、本市では、集客交流を高めるための中心的な施設として、中部電力跡地において、野球場を中心とする多目的スポーツ広場の設置に注力しているとともに、その様々な利活用策についても種々検討を重ねております。また、今後も市内各地での様々なイベントやまちの魅力発信等を推し進め、まち全体での集客交流を促進し、地域の活性化につなげてまいります。	市長公室

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
22	老人クラブ 連合会	前回も要望したが、尾鷲老人クラブ連合会事業活動に対して、尾鷲市のマイクロバスを利用できるようにしてほしい。	市マイクロバスの利用につきましては、先の「市長対話会」でも申し上げましたとおり、皆様の活動を継続することの重要性は十分に理解しているところでございます。一方で、市のマイクロバスにつきましては、加入しております市有物件災害共済保険の補償対象が「市の業務等によるもの」に限られているため、市の公務を離れた形でのお貸し出しは、万が一の際に補償が及ばないという課題がございます。近年、全国的にも貸切バス・マイクロバスによる重大な事故が相次いでおり、運行管理や安全確保のあり方が改めて問われております。皆様に安心してご活動いただくためにも、万一の事故の際に補償が受けられない状態でお貸しすることは、かえって皆様にご負担をおかけしかねないと考えております。この点については、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。皆様の活動をどのように支えられるか、引き続き前向きに検討してまいりたいと考えております。どのような場面で、どのような形でバスをご利用になりたいのか、具体的な内容をご相談いただければ、可能な範囲で対応を検討させていただきます。	総務人事課
23	老人クラブ 連合会	三木里海岸の松枯れについて、今後、どのような対応・対策を取っていくのか。市指定の天然記念物であるため、たとえ将来的に枯れてしまうとしても、一定の手当や保全はしてほしい。	松枯れ被害対策につきましては、枯死した松を切除することが重要であることから、天然記念物の松だけでなく、それ以外に市が管理する松についても所管部局と連携し、順次、枯れた松の切除を行っていきます。天然記念物の松に対する予防措置につきましては、本年5月の調査における樹木医の指導に基づき、周辺の松枯れが収まるまで当面の間、毎年、春から初夏ごろには松に対する薬剤散布を行うとともに、数年ごとに冬場に松の樹幹への薬剤注入を継続して行います。	文化・スポーツ振興課